



上右 振り袖を強調した作品も「さか田」ならでは。上左 模様の出方なども厳しくチェック。下右 顔はすべて手描き。一番難しいのは鼻すじだそう。下左 / 女性スタッフが多数活躍。



たくみっこう 匠一好 羽子板のさか田

押絵羽子板は、綿を入れて立体感を出したパーツを組み合わせて作る。200年以上の歴史をもつ押絵羽子板だが、「さか田」では流行の柄を着物に取り入れるなど、新しい提案にも余念がない。工房では、埼玉県伝統工芸士2名、節句人形工芸士3名ほか、15名以上の職人が完全分業制で製作を行っている。これが品質を落とさず効率よく作る秘訣だそう。1本からオーダーメイド可。◎東武スカイツリーライン春日部駅東口徒歩10分。工房見学は要問合せ。春日部市粕壁東1-23-27 ☎048-752-8585 MAP P.65

斬新なアイデアで伝統工芸に
新しい息吹を吹き込む

木の特性を見極め 使い分けることで 最高の仕上がりに

松田桐箱

春日部の桐箱作りは、日光東照宮の造営のため日光街道を行き来した職人が、粕壁宿周辺に多く自生していた桐で箱を作ったのが始まりとされる。オーダーメイドの制作も手がけるため、若手職人の育成など、技術の継承と向上にも積極的に取り組んでいる。◎東武スカイツリーライン一ノ割駅東口徒歩10分。販売は8時～17時、土・日・祝休。工房のみの見学は不可。春日部市緑町5-1-16 ☎048-736-7805 MAP P.65

右 / 用途に応じた厚さに断裁していく「板引き」という作業。中 / 名刺入れ(中央)は3240円とお手頃価格。軽くて使い勝手もいいと評判だ。左 / 丁寧な作業がよい品を生み出す。

